第6回 国際臨床医学会 学術集会 シンポジウム

◆オンラインシンポジウム◆

コロナ時代のインバウンド・アウトバウンド医療で求められるグローバルヘルス人材とは

【主旨】
グローバル化により人の移動が増加した結果、人類がこれまで経験したことのない新型コロナウィルス感染症（COVID-19）が世界的に感染拡大し、いまだ収束の兆しは見えない。こうした状況下では、世界水準の知見を持ち、グローバルな視点からリーダーシップを発揮できるグローバルヘルス人材の配置が適材適所で必要である。本シンポジウムでは、各界の専門家を迎え、コロナ禍及びポストコロナにおいて、インバウンド・アウトバウンド医療の各分野で求められるグローバルヘルス人材について考える

【プログラム】

1：次世代国際保健リーダーの模索と提案
国立国際医療研究センター グローバルヘルス人材戦略センター長
中谷 比呂樹

2：国際診療で求められるグローバルヘルス人材
国立国際医療研究センター 国際診療部長
杉浦 康夫

3：医療研究において求められるグルーバルヘルス人材
国立国際医療研究センター グローバルヘルス政策研究センター長
磯 博康

4：国際機関で求められるグローバルヘルス人材
Gaviワクチンアライアンス 資金調達担当上級マネージャー
北島 千佳

【お申込み】
12月3日（金）まで
国立国際医療研究センターHP：
https://pco-prime.com/icm2021/registration.html　よりお申込みください。お申し込み後に参加URLが届きます。

【参加費用】
本シンポジウムを含む学術集会参加費用：
✦医師・企業の方：10,000円
✦医師・企業以外の方：5,000円
✦学生：無料

【学術集会詳細】
https://pco-prime.com/icm2021/outline.html

【モデレーター】　地引 英理子　国立国際医療研究センター グローバルヘルス人材戦略センター 上級研究員

2021/12/11sat 14:00~15:00

✦開催形式：学術集会は完全オンラインか来場か選択可能
本シンポジウムは完全オンライン
✦主催：国立国際医療研究センター グローバルヘルス人材戦略センター
✦問い合わせ先：地引　英理子　ejibiki@hosp.ncgm.go.jp